

教職入門

[講義] 第1学年 後期 選択 教職必修 2単位

《担当者名》武井 昭也（非）a-takei@ts.siu.ac.jp

【概要】

教職の意義、教員の役割と職務内容、チーム学校への対応について、教師の日常的教育活動を踏まえながら、学修する。テキストの内容に沿って学生が発表報告の授業を行い、補足事項を確認しながら授業を進める。

【学修目標】

現代社会における教職の重要性の高まりを背景に、教職の意義、教員の役割、教員の資質能力及び職務内容等について理解し、教職への意欲を高め、さらに適性を判断し、進路選択に資する教職の在り方を理解する。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	教職の意義	教職志望の動機の確認、授業展開の概説、発表分担当決め、教職の社会的意義	武井
2	今日の学校教育の現状と課題	教師の求められている役割、基礎的な資質能力	武井
3	教師の日常(1)	関連法規、服務・身分保障の理解	武井
4	教師の日常(2)	専門職、無境界性、複線性、不確実性、再帰性	武井
5	授業と教師(1)	授業構成・デザイン、教育課程	武井
6	授業と教師(2)	教育課程教育的瞬間、振り返りと見通し、研修と協働	武井
7	授業と教師(3)	カリキュラム、総合学習、アクティブラーニング・学びの構造	武井
8	教師の基本態度	子どもの心に寄り添う、理解すること、守りの器になる	武井
9	教師の生涯	教育実習、新任期、アイデンティティ、研修	武井
10	同僚とともに	授業探求、同僚性、学びあうこと、専門職との連携、チーム学校	武井
11	教職の専門性	教員の地位に関する勧告、養成教育の現状、現職教育の現状	武井
12	教育の歴史と教職	学校の歴史、近代教育の開始期、教育の変遷、これからの教師像	武井
13	教職におけるジェンダー	女性教師の歴史、子育て	武井
14	教育と教職の未来	グローバル化、少子高齢化、いじめ、教師の使命	武井
15	まとめ、意見発表	教職の意義・職務、チーム学校	武井

【授業実施形態】

面接授業

※授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【アクティブ・ラーニング】

導入している

【評価方法】

課題提出・レジュメ作成と発表・・・40%、定期試験・・・60%

【教科書】

「新しい時代の教職入門」有斐閣アルマ

「高等学校学習指導要領」（平成30年3月告示 文部科学省）

「高等学校学習指導要領解説」（最新版）

「中学校学習指導要領・同解説」（平成29年3月告示 文部科学省）

【参考書】

「青い鳥」重松清（新潮文庫）
「新編教えるということ」大村はま（ちくま学芸文庫）
「問い続けて」林竹二（径書房）
「生徒指導提要（改訂版）」（令和4年12月 文部科学省）

【備考】

積極的に意見を述べ、自身の知見を深めて将来に役立てるように参加しましょう。
プリントを配付しますのでノートは不要です。

【学修の準備】

- (1)自身のこれまでの経験をふり返り、教師の条件をA4縦書き400字詰め原稿用紙二枚にまとめて授業一回目に提出すること。
（右上綴じ・縦書き）
 - (2)重松清『青い鳥』（新潮文庫）を期末試験までに読み終えること。
 - (3)発表分担についてテキストをまとめ、必要に応じて周辺情報を収集整理してレジュメを準備すること。
- ※事前・事後学修（予習・復習）4時間

【免許法施行規則に定める科目区分等】

「教育の基礎的理解に関する科目」の「教育の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）」に該当する。

【実務経験】

北海道公立高校教員12年、指導主事2年

【実務経験を活かした教育内容】

1. 実践経験の紹介
「学級通信」・教務や生徒指導、教育相談、部活動顧問等
 2. 教員のキャリア形成について
 3. 学生の模擬授業スタイルによる発表支援
 4. 北海道全域の国語教育研究会立ち上げと運営などから研修に関する事例紹介
- 上記の実務経験を活かし、実践的な教育を行う。